平 成 ２ ６ 年 度

事　業　報　告　書

自 平成２６年４月 １ 日
至 平成２７年３月３１日

（平成２７年５月）

一般社団法人 日本ねじ工業協会

目 次

第１章　平成 26 年 ねじの生産・輸出入状況 …… 1

第２章　事業活動 …… 2

Ⅰ　委員会事業 …… 2

１．政策委員会事業 …… 2
（１）委員会・部会活動強化への諮問 …… 2
（２）会員増強の推進 …… 2
（３）決算・予算報告への諮問 …… 2
（４）その他 …… 2

２．未来開発･パブリシティ委員会事業 …… 2
（１）IT 化された「会報ねじ」の有効活用 …… 2
（２）未来開発・パブリシティ委員会活動 …… 2
（３）JIS 本体規格製品(六角ボルト･六角ナット)の普及促進活動のフォーロアップ … 2
（４）MF-Tokyo2015 出展に向けた具体化 …… 3
（５）協会創立 55 周年フォーラムの実施／企画の具体化準備 …… 3
（６）協会内の E メール情報網構築推進活動 …… 3
（７）外部からのメルマガ登録 …… 3
（８）その他 調査・広報関係事業 …… 3
（９）平成 27 年度 事業計画案の策定 …… 3

３．資格委員会事業 …… 4
（１）資格委員会事業に係わる事業推進 …… 4
（２）テキスト（ハンドブック）改訂事業 …… 4
（３）ねじ製造技能検定講習会及び
ねじ製造技能検定（協会認定）の実施 …… 4
（４）職業能力評価基準の普及／活用促進事業推進 …… 7
（５）反省会の開催 …… 7
（６）平成 27 年度 事業計画案の策定 …… 7

４．技術委員会事業 …… 7
（１）技術講習会及び関連業界視察の開催／実施 …… 7
（２）ねじに関する安全啓発事業 …… 7
（３）広報用ねじの生産工程動画作成に向けた検討準備 …… 7
（４）圧造技術スクール（FTS）の開催 …… 7
（５）JIS/ISO に関する事業 …… 8
（６）サポーティングインダストリー振興事業 …… 8
（７）有害物質規制及び地球環境温暖化対策に関する事業 …… 8
（８）技術関係出版物対応事業 …… 8
（９）平成 27 年度 事業計画案の策定 …… 8
（１０）その他、技術振興事業 …… 8

５．国際委員会事業 …… ９
（１）2014 年五地域ねじ協会交流大会への参加 …… ９
（２）台湾（高雄市）のガス爆発に対する対応 …… ９
（３）原産地規則、自由貿易協定、TPP に関する情報収集 …… ９
（４）海外ねじ関連企業工場見学 …… ９
（５）海外ねじ業界（産業）との交流 …… ９
（６）国際関連情報の情報収集提供 …… ９
（７）平成 27 年度 事業計画案の策定 …… ９
（８）その他、国際協調・競争力強化関係事業 …… ９

６．労務委員会事業 …… １０
（１）会員企業の労務に関する調査 …… １０
（２）労務関係情報の収集・提供 …… １０
（３）団体保険制度加入拡充の促進事業 …… １０
（４）労務関係セミナー開催 …… １０

７．財務委員会事業 …… １０

Ⅱ　部会事業 …… １１

Ⅲ　組織強化事業 …… １３
（１）魅力ある協会運営のための事業推進 …… １３
（２）会員の経営基盤強化のための講演会開催 …… １３
（３）一般社団法人への移行後の事務作業 …… １３
（４）定款変更検討／準備並びに諸規程の整備 …… １３
（５）政府経済対策等への対応 …… １３
（６）取引の適正化に係わる事業 …… １３
（７）関連団体との連携強化 …… １３
（８）職場訪問への対応 …… １３
（９）その他 …… １３

第３章　総会、理事会、執行役員会、懇談会・懇親会等 …… １３

１．総会、理事会、執行役員会 …… １４
（１）総会 …… １４
（２）理事会、執行役員会 …… １４

２．懇談会・工場見学会・懇親会等 …… １５

３．ねじ商工連盟総会 …… １５

【平成２６年度会員数推移】 …… １６

【参考１】第 2 回社員総会議事録 …… １７

第１章　平成 26 年 ねじの生産・輸出入状況

（１）生産（速報）　　（出所：当協会推計）

重　量：２９４万トン　　（対前年比　　２．０％増）

金　額：８，４４１億円　　（対前年比　　２．１％増）

数量・金額とも増加。

（過去最高－H19：数量 334 万トン・H19：金額 9,005 億円）

（参考－H21（リーマンショック）：数量 222 万トン、金額 6,274 億円）

（２）輸入　　（出所：財務省貿易統計）

重　量：２４．９万トン　　（対前年比　　１．９％減）

金　額：８９６億円　　（対前年比　　７．０％増）

数量減少、金額増加。金額では過去最高。

（過去最高－H25：数量 25.4 万トン・H26：金額 896 億円）

（主要輸入先国：中国、台湾、米国（数量 3 位：韓国））

（３）輸出　　（出所：財務省貿易統計）

重　量：３２．８万トン　　（対前年比　　０．６％減）

金　額：２，７７２億円　　（対前年比　　０．７％増）

数量減少、金額増加。金額では過去最高。

（過去最高－S52：数量 38.1 万トン・H26：金額 2,772 億円）

（主要仕向地：米国、中国、タイ）

（仕向地 1 位：中国 → 米国に再逆転）（一昨年と同様）

（参考）需要業界生産動向（速報）

（出所：生産動態統計（輸送機械、電気・電子デバイス・情報通信機械、一般機械）

（暦年）	四輪自動車		民生用電気機械器具	民生用電子機械器具	金属工作機械	
	万台	億円	億円	億円	万トン	億円
25 年	963	179,225	8,243	8,223	32	8,864
26 年	977	191,522	8,325	6,930	45	11,769
前年比	101.5%	106.9%	101.0%	84.3%	141.7%	132.8%

第２章　事業活動

Ⅰ　委員会事業

１．政策委員会事業　（相澤正己会長）

（１）委員会・部会活動強化への諮問

○ ７委員会　政策委員会、未来開発・パブリシティ委員会、資格委員会、技術委員会、国際委員会、労務委員会、財務委員会

○ ７部会　ソケットスクリュー部会、小ねじ部会、特殊品ねじ部会、ステンレスねじ部会、建築用ねじ部会、ボルト部会、ナット部会

○取引関係に関する諸課題対応のための協会常設委員会設置の検討及び委員会･部会の統廃合検討

（２）会員増強の推進

（３）決算・予算報告への諮問

（４）その他（政策委員会（懇親会）開催 他）

２．未来開発・パブリシティ委員会事業　（藤田守彦委員長、勝亦良彰副委員長、高須俊行副委員長）

（１）IT 化された「会報ねじ」の有効活用

協会会員の手によるパブリシティ構築に向けた活動が定着しつつあり、IT 化「会報ねじ」が浸透すると共に、さらなるメルマガ配信先会員企業の社内読者の登録促進活動を行って内部へのメルマガ配信メールも定着。そして 2014 年度には「業際（ねじ製造関連業界）向けの配信」を開始すべく外部へのメルマガ登録の受付開始。それに伴って会報ねじの検索件数増加。今後も記事及び配信内容の一層の充実をはかる。

○ 会員の手による、会報「ねじ」企画 対談「トップに聞く」に関する取材、原稿取り纏め（校正含む）、ホームページによる発信

対 談 者（対談場所）
㈱南勢 代表取締役社長 瀧 篤人 氏 （於：本社）
㈱中島田鉄工所 代表取締役社長 中島田 正宏 氏 （於：本社）
日東精工㈱ 代表取締役社長 材木 正己 氏 （於：本社）

○ その他「会報ねじ」記事の掲載

「会報ねじ」の記事　　アップ状況（H26.4～H27.3 末）　：22 件

○ メルマガ配信の有効活用　配信状況（同期間）　：15 件

（２）未来開発・パブリシティ委員会活動

H27 年が協会創立 55 周年に当たることから、委員会では「パブリシティを手段として、一層の業界地位の向上を目指す」方針に則って 55 周年に向けた委員会活動のあり方を確認。

○ 正副委員長会（委員長、副委員長、事務局）を開催

（正副委員長会－H26.5.22 於:東京、H26.6.30 於:東京、H26.8.5 於:東京　計 3 回開催）

基本方針や活動の具体化、今後の方向性等を検討

○ 未来開発・パブリシティ委員会（懇親会）の開催

（委員会－H26.8.29 於:東京（懇親会）、H26.10.15:東京 計 2 回開催）

・業際（ねじ製造関連業界）とのネットワーク構築（業際向け配信等）に関する検討

・協会創立 55 周年に向けた事業（平成 27 年度実施事業）の具体化

・JIS 本体規格の普及に関わる PR 活動検討（実施）

・会報「ねじ」の会員限定記事へのパスワード解除に関する検討／実施

・その他 協会会員へのサービス向上並びに地位向上を目指した活動に関する検討

○ 広報用ねじの生産工程動画作成に向けた検討準備（技術委員会 会員 WG からの依頼）

○ これまで同様 Facebook グループ機能による同委員会内の迅速な情報共有のさらなる推進

（３）JIS 本体規格製品（六角ボルト・六角ナット）の普及促進活動のフォーロアップの検討／告知ホームページの作成／掲載

（４）MF-Tokyo2015 出展に向けた具体化

（一社）日本鍛圧機械工業会から特別協賛依頼及び展示小間の無償貸与の提案を受け当委員会で企画具体化及び出展準備を検討／実施。

(MF-Tokyo2015 開催時期:H27.7.15～7.18 の 4 日間 於:東京ビッグサイト)

・出展準備委員会の立ち上げ（高須俊行委員長選任）及び開催

（出展準備委員会－H26.10.6、H26.12.1、H27.1.30、H27.2.16、H27.3.10、H27.4.7 於：東京（全委員会） 計 6 回開催）

・スローガン決定

この世はねじでできている！－暮らしを変えるねじ。産業の技術革新を支えるねじー」

・会員に向けた出展要望アンケートの実施及びその他出展内容の具体化作業

・展示会主催者による出展説明会（H27.3.10 於:東京ビッグサイト）出席等、その他、出展準備に関する事業

（５）協会創立 55 周年フォーラム（ワークショップ）の実施／企画の具体化準備

協会創立 50 周年記念事業の思いを消さないために、さらにより充実した 60 周年を迎えるために、ワークショップイベントの実施を検討（H27.11.6 於:東京 品川で調整中）

次代の後継者を集めテーマ毎に（外部も含めて）世間に発信するメッセージをまとめる方向で準備（勝亦良彰準備責任者選任）

（６）協会内の E メール情報網構築推進活動

○ 委員による積極的な登録推進活動の推進

○ メルマガ読者登録推進活動の推進の結果、H27.4.1 現在の窓口責任者登録率は 97.9%

(企業数 190/194 社(会員数))

（７）外部からのメルマガ登録受付

○ 2014 年度より外部からのメルマガ登録の受付開始

その結果、H27.4.1 現在のメルマガ読者登録数：752 人（正副窓口責任者含む）

(昨年度報告 632 人(19.0 増))

○ 現在、外部からの登録は 2-3 件/月ずつ増加中

（８）上記以外のこれまで実施して来た調査・広報関係事業

○ 年頭所感・ねじの日挨拶等の会報「ねじ」発表対応

○ その他協会ホームページの更新（協会事務局担当分）

○ 生産統計の作成（メールを活用した収集）

○ 輸出入統計、主要国のねじ貿易統計の作成

○ 「ねじの日」記念事業

・ねじ関係報道各社(3 紙)へのねじの日及び当協会ＰＲ広告掲載

・ねじの日記念「修正テープ」（日本ねじ商業協同組合連合会 企画･販売)の頒布斡旋

(H27.6.1 ねじの日記念事業)

○ 官公庁、その他関連団体などからの業界関連情報の収集・提供

○ 官公庁、その他関連団体などからの調査（情報収集）依頼及び情報提供依頼への協力

（メール及びホームページを活用した会員との双方向の情報収集／提供の実現）

○ TV 局､報道各紙･誌､他業界などからのねじ･業界･当協会に関する取材／問合せへの対応

○ その他

・その他 会員並びに業界（関連）情報の収集・提供

・その他 当協会・会員・業界（関連）情報の広報／周知（ＰＲ）活動

（９）平成 27 年度 本委員会の事業計画案の策定

○ 協会の地位向上のための事業

・プレス・板金・フォーミング展(MF-Tokyo 2015)への出展参加

・協会創立５５周年記念フォーラム事業の推進

○ IT の有効活用の推進強化

○ 会員の手による広報活動の推進強化

○ その他ねじ業界振興発展のための事業

・六角ボルト､六角ナットに関する JIS 規格改定に関する周知徹底事業

・国立科学博物館の産業遺産調査結果の活用検討

○ 当協会推進事業に関する広報活動

・生産統計、輸出入統計、主要国の貿易統計

・ねじの日（６月１日）の事業検討・推進

・協会・業界活動の情報発信

３．資格委員会事業　（椿省一郎委員長）

（１）資格委員会事業に係わる事業内容（計画）の具体化の審議、決定、同事業推進

（２）テキスト（ハンドブック）改訂事業

○テキスト（ねじ製造技能検定講習会及び協会認定で使用するテキスト）会議の開催

基礎編テキスト改訂会議（H26.5.14、5.29、6.11、6.13、6.17、7.4、7.16、9.11、9.25 計９回
於:関西支部会議室、AP名古屋名駅、日本表面化学㈱、㈱フセラシ、日産ネジ㈱）

基礎編図表チェック並びにネガチェック（H26.12.25、H27.3.4
於:㈱丸エム製作所、機械振興会館）

製造編テキスト改訂会議（H26.5.21、6.3、6.20、7.23、8.28、9.11、9.16、10.17、11.27、12.5、
H27.1.29、2.10、2.12、3.17 計14回
於:AP名古屋名駅、機械振興会館、㈱杉浦製作所、天満研修センター）

（テキスト改訂担当一覧／章立て 次頁参照）

（３）ねじ製造技能検定講習会及びねじ製造技能検定（協会認定）の実施

○ ねじ製造技能検定（協会認定）を国家検定化するための検討

・厚生労働省、JAVADA等の検定創設に必要となる関係諸団体とのヒアリング／交流並びに見聞調査

・国家検定化に向けた１級試験内容検討並びに作業試験の拡充検討（実機トライアル実施等）

＜実機トライアル＞

第１回 模擬実機トライアル（H26.6.16 於:旭サナック㈱（愛知）（多段フォーマー使用））

第２回 多段フォーマーによる実機トライアル（H26.11.10-11 於:㈱互省製作所（福島））
（厚生労働省（技能検定）担当者同行）

第３回 １ダイ２ブローヘッダーによる実機トライアル（H26.3.12 於:日産ネジ㈱(大阪)）

○ ねじ製造技能検定講習会の実施

・関東、中部、関西で、地域毎３回の講習会を開催（地域毎に同一日に開催）

日程　第１回目 H26.8.28
第２回目 H26.9.25
第３回目 H26.10.23

実施場所　関東　於:東京　機械振興会館　参加者:50名
中部　於:名古屋 愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 参加者:30名
関西　於:大阪　天満研修センター　参加者:64名

カリキュラム　次々頁カリキュラム１～3(計３日)で１セット(地域毎１～3を交替で実施)
（ねじ製造技能検定講習会カリキュラム　次々頁参照）

（対象：当協会会員　受講料:10,000円(3日間)-学科5,000円/実技5,000円　テキスト代5,000円）
協会所属組合員　受講料:15,000円(3日間)-学科7,500円/実技7,500円　テキスト代7,500円）

○ ねじ製造技能検定（協会認定）の実施に向けた取組み

（検討検定員会 H26.4.17、5.19、7.23、8.19、9.11、11.11、12.5
於:機械振興会館、旭サナック㈱、AP名古屋名駅、関西支部会議室）

・ねじ製造技能検定（協会認定）の受検資格等の基本事項について検討
結果　２級のみ、受検資格：実務経験３年以上、
（昨年同様）　受検対象者：会員企業並びに協会所属組合員企業

・ねじ製造技能検定（協会認定）実施に向けた活動計画の検討・決定
・ねじ製造技能検定（協会認定）を実施運営に携わる検定員増強、委嘱に関する作業
・ねじ製造技能検定（協会認定）１級創設のための検討・準備作業
・学科試験、実技試験の試験基準・合格基準・作業試験の評価基準等の確認／見直し
・学科試験の確認・検討・問題内容の見直し・試験問題作成
・実技試験（要素試験）の確認・内容見直し、試験問題作成
・実技試験（作業試験）内容・試験問題確認
・実技試験の作業試験に対するチェック項目の再検討・チェックシートの見直し
・実技試験の作業試験に対する検定員のレベル合わせ・向上
模擬実技試験の実施（H26.1.29 於:大阪 天満研修センター）
検定員レベル合わせ向上（確認）講習会の開催
（H26.2.12 於:名古屋 愛知県産業労働センター）
検定当日の担当分け等の各３地域単位の検定員会開催
（同上同日同会場-H26.2.12 於:名古屋 愛知県産業労働センター）
・関東・中部・関西同日（同時間）実施体制の確認・見直し
・作業試験の試験サンプル、測定器等 試験に必要なもの（備品含む）の準備
・ねじ製造技能検定（協会認定）当日の試験段取り（プログラム）の検討・準備

≪テキスト改訂担当一覧／章立て≫

＜基礎編＞　（○印：編集担当責任者）　順不同・敬称略

No	編集担当者（基本的に3名以上）	章番号 タイトル （執筆担当）
1	○鏡味、宮下、大磯、矢島、古賀、北尾	1. ねじの基礎知識 （大磯） 2. ねじ用材料 （古賀） 7. 熱処理 （古賀）
2	○鏡味、棚瀬、宮下、北尾、吉岡、楠、藤本	3. 機械要素 （北尾） 4. 機械製図 （吉岡） 5. 品質保証・管理 （吉岡） 6. 検査・試験 （吉岡）
3	○鏡味、○矢島、山室	8. 表面処理 （山室）
4	○杉浦、北尾、土居	9. 安全衛生 （北尾）
5	○鏡味、○棚瀬、松浦、遠藤、 杉浦、山口	10.設備に必要な基礎知識 （鏡味） 10.1 電気 （松浦） 10.2 ねじ加工設備に使用する油 （山口） 10.3 油圧・空気圧 （松浦）

＜製造編＞　（○印：編集担当責任者）　順不同・敬称略

No	編集担当者（基本的に3名以上）	章番号 タイトル （執筆担当）
6	○鏡味、宮下、矢島、杉浦、棚瀬、北尾	1. ねじ部品の生産工程 （鏡味）
7	○鏡味、○宮下、○矢島、○杉浦、棚瀬、遠藤、松浦、古家、大石、山口、北尾	2. 冷間圧造 2.1 工程設計 （鏡味） 2.2 冷間圧造 2.2.1 冷間圧造における作業の流れ （松浦） 2.2.2 冷間圧造機の概要 （松浦） 2.2.3 1ダイ2ブローヘッダー （大石）（松浦） 2.2.4 2ダイ2ブロー （松浦） 2.2.5 ボルトフォーマー （松浦） 2.2.6 六角ﾄﾘﾑﾄﾞﾎﾞﾙﾄの冷間圧造ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾃｨﾝｸﾞ （松浦） 2.2.7 ナットフォーマー （遠藤） 2.2.8 六角ﾅｯﾄの冷間圧造ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾃｨﾝｸﾞ （遠藤） 2.2.9 圧造油 （山口） 2.3 二次加工設備 2.3.1 トリミング（改訂なし） （検定委員会） 2.3.2 先取り機（改訂なし） （検定委員会）
8	○鏡味、○宮下、○矢島、遠藤、谷口、有泉	3.1 おねじの成形（ねじ転造） 3.1.1 ねじ転造の基本 （鏡味） 3.1.2 ねじ転造盤とねじ転造ダイス （鏡味） 3.1.3 丸ダイス式転造盤 （有泉） 3.1.4 平ダイス式転造盤 （谷口） 3.1.5 プラネタリ式転造盤 （谷口） 3.1.6 ねじ転造のトラブルシューティング （谷口） 3.1.7 転造油 （谷口）
9	○杉浦、○鏡味、太田、林	3.2 めねじ成形（タッピング） （太田） 3.2.1 タッピングマシン （太田） 3.2.2 タップ （林） 3.2.3 タッピングのトラブルシューティング （太田） 3.2.4 切削油 （太田）
10	○鏡味、宮下、矢島、杉浦、棚瀬、遠藤、松浦、山口、北尾、太田	4. 生産設備の保守・点検 （検定委員会） 4.1 保守・点検の基礎 （松浦）（遠藤）（有泉）（谷口）（太田） 4.2 冷間圧造機の保守・点検 （松浦）（遠藤） 4.3 ねじ転造盤の保守・点検 （有泉）（谷口） 4.4 ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾏｼﾝの保守・点検 （太田）

＜実技試験編＞　（検討のみ）　（次年度以降執筆予定）

No	編集担当者（基本的に3名以上）	章番号 タイトル （執筆担当）
11	実技試験実習	作図講習：ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄのﾃｷｽﾄ化 （鏡味）
12	実技試験実習	測定基礎：ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄのﾃｷｽﾄ化 （楠）
13	実技試験実習	実測講習：ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄのﾃｷｽﾄ化 （藤本）

＜上記表の氏名及び所属＞　順不同・敬称略

㈱互省製作所	椿省一郎	㈱エーオー	松浦富康
日産ネジ㈱	北尾八三一	㈱阪村機械製作所	遠藤信幸
㈱メイドー	鏡味秀治	㈱中島田鉄工所	大石浩治
旭サナック㈱	棚瀬幸彦	㈱中島田鉄工所	古家末年
㈱互省製作所	宮下昌	スギムラ化学工業㈱	山口直樹
㈱杉浦製作所	杉浦強	㈱三明製作所	谷口正樹
㈱丸ヱム製作所	矢島隆	㈱ニッセー	有泉直輝
(一社)日本ねじ工業協会	大磯義和	東京タッピングマシン㈱	太田譲
大阪精工㈱	古賀浩介	㈱野村工具製作所	林達志
㈱フセラシ	吉岡正澄	㈱ミツトヨ	楠武史
日本表面化学㈱	山室正明	㈱メイドー	藤本晃生
日産ネジ㈱	土居貴志		

≪ねじ製造技能検定講習会カリキュラム≫

	時　間	テーマ	講　師
カリキュラム1 8.28 関東 9.25 中部 10.23 関西	9:20～10:10	ねじの基礎について	(一社)日本ねじ工業協会 専務理事 大磯義和 氏
	10:20～11:30	ねじ用材料とその熱処理	大阪精工㈱ 取締役 古賀浩介 氏
	12:20～13:20	品質管理と検査	㈱フセラシ 品質管理部次長 主幹 吉岡正澄 氏
	13:30～14:20	表面処理について	日本表面化学㈱ 常務取締役 山室正明 氏
	14:30～15:00	圧造油について	スギムラ化学㈱ チームリーダー 山口直樹 氏
	15:00～15:30	安全衛生について	日産ネジ㈱ 製造課長 土居貴志 氏
	15:40～16:40	効果測定試験	
カリキュラム2 8.28 関西 9.25 関東 10.23 中部	9:20～11:50	ボルト製造設備,電気、圧力関係及び ボルト鍛造加工機の取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	㈱エーオー 取締役 サービス技術部長 松浦富康 氏
	13:00～14:40	転造盤の設備及びボルト転造機の 取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	㈱三明製作所 常務取締役 谷口正樹 氏
	14:50～16:45	ねじの製図講習 (JIS に準じたボルトの製図方法及び ボルト製品の作図実習)	関東:㈱互省製作所 設計課長 情野克也 氏 中部:㈱メイドー 調達課 主幹 松島敏之 氏 関西:㈱丸エム製作所 執行役員 品質保証部長 出羽弘 氏
カリキュラム3 8.28 中部 9.25 関西 10.23 関東	9:20～11:50	ナット生産設備及びナット鍛造加工機の 取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	㈱阪村機械製作所 技術部課長 遠藤信幸 氏
	13:00～14:40	ナットタッピング生産設備及び ナットタッピング機の取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	東京タッピングマシン㈱ 部品設計主任 太田譲 氏
			㈱野村工具製作所 製造部次長 林達志 氏
	14:50～16:45	ボルトの測定講習 (JIS に準じたボルトの測定方法及び ボルト製品の測定実習)	㈱ミツトヨ 関東:南関東営業1課 松井孝夫 氏 中部:中部営業部 流通営業課 吉田宏 氏 関西:関西営業1課 副主査 森田宏隆 氏
			㈱メイドー 品質保証部品質保証課係長 藤本晃生 氏

○ ねじ製造技能検定（協会認定）の実施

・関東、中部、関西の3地域同日同時間によるねじ製造技能検定（協会認定）実施

（昨年度一部合格者は、一部合格済試験は免除）

試験日：H27.2.19　関東-於:東　京 機械振興会館　受検者:37名

中部-於:名古屋 愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 受検者:25名

関西-於:大　阪 天満研修センター　受検者:56名

（対象：当協会会員　:学科試験:5,000円、実技試験:10,000円

協会所属組合員:学科試験:6,500円、実技試験:15,000円）

＜受検カリキュラム＞　9:45 実技試験受付開始 10:15 着席完了

10:30 実技試験開始（途中作業試験と要素試験の入換え時間あり）

・作業試験:60分

・要素試験:60分

13:00 実技試験終了

（昼食）

13:30 学科試験受付開始 13:50 着席完了

14:00 学科試験開始（学科試験:60分）

15:00 学科試験終了

・ねじ製造技能検定（協会認定）の採点／合否判定

（合否判定会議:H27.3.4 於:機械振興会館）

受検者118名中、合格者59名、一部合格者 学科試験18名、実技試験6名

・ねじ製造技能検定（協会認定）の合格者受検番号を協会ホームページで公表

・ねじ製造技能検定（協会認定）合格証、一部合格証送付

・ニュースリリースの発表

（4）職業能力評価基準の普及／活用促進事業推進

○ ねじ製造業の職業能力評価基準並びに活用促進ツール類のさらなる普及／活用促進事業推進

（5）反省会の開催

ねじ製造技能検定講習会及びねじ製造技能検定（協会認定）のさらなる発展を目指して検定委員会、ねじ製造技能検定講習会講師及び協会認定検定員との合同反省会･懇親会開催（H26.4.9 於:名古屋 キャッスルプラザ）

（6）平成 27 年度 本委員会の事業計画案の策定

・ねじ製造技能検定創設に向けた講習会の見直し並びに拡充検討

・ねじ製造技能検定（協会認定）の充実

（試験段取り(プログラム)･採点手順等の効率化／見直し検討、
検定員及び受検者レベルの向上、同協会認定のさらなる対外的普及活動）

・技能検定創設のための取組み（計画案の策定、具体化、
作業試験拡充検討(トライアルの継続実施)）

・さらなる、ねじ製造業の職業能力評価基準の普及推進・活用促進事業推進

・ねじ製造技能検定講習会及びねじ製造技能検定（協会認定）の外部受講／受検開始（予定）

・平成 27 年度より改訂されたテキスト（ハンドブック）の講習会等における活用開始（予定）

（7）その他、資格制度に関する事業

○ ねじ製造技能検定創設に向けた講習会及びねじ製造技能検定（協会認定）の事務処理
（日程調整、広報、案内、会場確保、会場準備、データ処理、受検（講）票送付等）

○ 技能検定創設に向けた諸作業
（厚生労働省･JAVADA とのヒアリングなどの対応、手続き･取組等検討、
諸規定の整備(見直し）他）

○ 資格委員会事業の体制（整備）拡充及び事務処理体制整備の検討

4．技術委員会事業　（長谷川裕恭委員長）

（1）技術講習会及び関連業界視察の実施

○ 技術講習会
「ねじ製造技能検定講習会」開催（資格委員会事業）

○ 他業界視察
＜需要業界＞
・自動車メーカー等工場見学（関西支部事業）
・住宅メーカー等工場見学（関東支部事業）
＜材料業界＞
・線材（ステンレス）供給メーカー等工場見学（ステンレスねじ部会事業）

（2）ねじに関する安全啓発事業

○ 広く一般向けのねじの安全啓発記事「ねじの常識・非常識」の執筆に係わる内容検討
（会員事業 WG（ワーキンググループ）開催:H26.5.30 於:機械振興会館）

（3）広報用ねじの生産工程動画作成に向けた検討準備
（会員事業 WG（同上）で検討）（未来開発・パブリシティ委員会との連携検討）

（4）圧造技術スクール（FTS）の開催（旭サナック株式会社と共催）

平成 26 年度は、下記のとおり工程設計コース 4 回、金型設計コース 2 回の計 6 回開催し、計 111 名が参加した。

開催日	内容	開催場所 参加者数
第 133 回 26.6.18～20	工程設計コース	旭サナック㈱圧造技術センター 参加者 23 名
第 134 回 26.9.17～19	金型設計コース	〃 参加者 15 名
第 135 回 26.10.15～17	工程設計コース	〃 参加者 22 名
第 136 回 26.12.10～12	工程設計コース	〃 参加者 15 名
第 137 回 27.2.25～27	工程設計コース	〃 参加者 18 名
第 138 回 27.3.18～20	金型設計コース	〃 参加者 18 名

（５）JIS/ISO に関する事業

○ 六角ボルト（JIS B 1180）、六角ナット（JIS B 1181）の改正に伴う事業

・改正概要の報告（諸会合並びにホームページ等による周知／ＰＲ）

・ボルト部会及びナット部会と共催で六角ボルト（JIS B 1180）及び六角ナット（JIS B 1181）JIS 改正に伴う合同会議を開催 （Ⅱ．部会事業（ボルト部会／びナット部会）参照）

・六角ボルト（JIS B 1180）及び六角ナット（JIS B 1181）の使用状況調査（建築向け）

・ボルト･ナットリーフレット作成委員会（昨年度設置）を開催し、本体規格による製品と附属書による製品との混在等、JIS 改正に伴う新たな課題への対処（対応）検討並びにその対外的な周知（ＰＲ）用リーフレットの作成

（H26.4.17、H26.6.10、H26.7.7、H26.8.26 計 4 回(昨年来合計 8 回)同委員会開催）

・リーフレット「六角ボルト･ナット 附属書品から本体規格品への切り替えガイド」の完成／印刷(初版 1 万部)／ダウンロード版の作成／ホームページ掲載

・同リーフレット増刷(5 千部)

○ 同リーフレット並びに六角ボルト(JIS B 1180)･六角ナット(JIS B 1181)の本体規格製品の普及･ＰＲ･啓発活動

・会員企業への同リーフレット配布（1 社：一律 3 部／追加要望会員企業へは必要数配布）

・「六角ボルト・六角ナットの JIS 改正に伴う説明会」開催

開催日	時間･場所 参加者数	テーマ･講師･その他
26.9.24	14:00～15:30 大阪･天満 研修センター 参加者 89 名	＜内容＞ ･JIS 改正内容のポイント 説明者:大磯義和専務理事 ･六角ボルト(JIS B 1180)に関する注意点について 説明者:平戸眞澄委員長 ･六角ナット(JIS B 1181)に関する注意点について 説明者:橋本知委員 ･質疑応答
26.9.26	14:00～15:30 東京･機械振興会館 参加者 78 名	同 上

・経済産業省への報告／協力依頼、国土交通省（建築指導課／整備課）への本体規格製品への切り替え要望、関係諸団体への切り替え要望実施

・日本ねじ商業協同組合連合会への同リーフレット頒布

・需要業界団体への同リーフレット配布（56 団体）

・説明希望業界（団体）への説明（会）実施（東京鋲螺協同組合 他）

・同リーフレット入手希望企業への頒布並びにその他、普及･ＰＲ･啓発活動

○ 国土交通省への報告のための六角ボルト／六角ナットの JIS 相当品の生産数量調査実施（JIS 認証工場宛）

○ JIS 規格の制定・改正状況報告（日本ねじ研究協会との連携）

・ねじの機械的性質（JIS B 1051/1052-2／1053）の JIS 説明会（日本ねじ研究協会主催）の案内等、周知／ＰＲ／協力

・その他、JIS の制定・改正に関する情報提供並びに JIS 規格に関する問合せ等への対応

（６）サポーティングインダストリー振興事業

○ 会員啓発のための作業

○ 公募関係事前案内等の会員への活用促進対応

○ 申請作業に関する会員サポート対応

（７）有害物質規制及び地球環境温暖化対策に関する事業

海外の化学物質管理規制、省エネ・温暖化対策等に関する情報の収集

（８）ねじ入門書（ＣＤ版）の頒布、ねじ読本の頒布、JIS ハンドブックの斡旋

（９）平成 27 年度 本委員会の事業計画案の策定

（１０）その他、技術振興事業

５．国際委員会事業　（大川克良委員長）

（１）2014 年五地域ねじ協会交流大会（於：台湾・高雄）への参加
以下のとおり、五地域ねじ協会交流大会に参加

＜大会概要＞

日　　程：4 月 12 日（土）～14 日（月）
開催場所：台湾　高雄市
参 加 者：台湾 52 名、中国 53 名、香港 35 名、韓国 27 名、
日本 35 名（報道 2 名及び事務局員 2 名を含む）計 202 名
大会構成：
4 月 12 日(土)：日台親善ゴルフ大会　（於：大崗山ゴルフ場）
代表者会議
13 日(日)：台湾ねじ博物館の見学
交流大会本会議
懇親晩餐会
14 日(月)：2014 台湾国際ファスナー展示会見学（高雄市）
旭和螺絲股份有限公司工場見学（当協会会員進出メーカー）
（ねじ（工業用ファスナー)、自動組立機械生産）
15 日(火)　帰国

※ 来年の開催地は香港に決定した

（２）台湾（高雄市）のガス爆発に対する対応
H26.8.1 に台湾高雄市で発生した大規模なガス爆発事故（死者 25 名）の発生に伴い、昨年度に準備した台湾ねじ博物館完成祝賀金百万円を急遽救済及び復興資金のための義捐金に変更して台湾高雄市に寄付。それに対して高雄市長からの感謝状を受領。

（３）原産地規則、自由貿易協定、TPP に関する情報収集
日本及び諸外国間の FTA／EPA 協定締結状況、運用状況、TPP 情報、原産地規則等の情報収集提供

（４）海外ねじ関連企業工場見学
・日系台湾ねじメーカー工場見学（上記、五地域ねじ協会交流大会 参照）
・台湾ねじメーカー（2 社）工場見学（建築用ねじ部会事業）

（５）海外ねじ業界（産業）との交流
海外ねじ関係情報誌を通じた情報収集／提供（投稿）（交流）（台湾並びにイタリア）
台　　湾（雑誌名）：Fastener World
イタリア（雑誌名）：Italian Fasteners

（６）国際関連情報の情報収集提供

（７）平成 27 年度 本委員会の事業計画案の策定

（８）その他、国際協調・競争力強化関係事業

＜参考＞ 日本における EPA/FTA の状況について

シンガポール	2007 年 9 月	発効（改正議定書）
メキシコ	2012 年 4 月	発効（改正議定書）
マレーシア	2006 年 7 月	発効
チリ	2007 年 9 月	発効
タイ	2007 年 11 月	発効
フィリピン	2008 年 12 月	発効
ブルネイ	2008 年 7 月	発効
インドネシア	2008 年 7 月	発効
アセアン全体	2014 年 5 月	発効（インドネシアを除く）
ベトナム	2009 年 10 月	発効
スイス	2009 年 9 月	発効
インド	2011 年 8 月	発効
ペルー	2012 年 3 月	発効
オーストラリア	2015 年 1 月	発効
モンゴル	2015 年 2 月	署名済
コロンビア		交渉中
カナダ		交渉中
日中韓		交渉中
EU		交渉中
東アジア地域包括的経済連携（RCEP）		（日本、中国、韓国、ｲﾝﾄﾞ、ｵｰｽﾄﾗﾘｱ、ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ）
		交渉中
トルコ		交渉中
GCC(湾岸協力理事会)加盟諸国		（ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱ、ｸｳｪｰﾄ、UAE、ﾊﾞｰﾚｰﾝ、ｶﾀｰﾙ、ｵﾏｰﾝ）
		交渉延期
韓国		交渉中断中
TPP		交渉中

（ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ、ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ、ﾁﾘ、ﾌﾞﾙﾈｲ、ｱﾒﾘｶ、ｵｰｽﾄﾗﾘｱ、ﾍﾟﾙｰ、ﾏﾚｰｼｱ、ﾒｷｼｺ、ｶﾅﾀﾞ、日本(2013 年 7 月参加)の計 12 カ国が交渉参加）

６．労務委員会事業　（大磯義和委員長）

（１）会員企業の労務に関する調査
会員企業の従業員賃金・賃上げ、賞与に関する調査

調査名	調査内容・回答社数
①平成 25 年年末手当要求、妥結状況	回答 11 社
②平成 26 年春期賃上げ要求、妥結状況	回答 13 社
③平成 26 年夏期手当要求、妥結状況	回答 12 社
④平成 26 年度従業員賃金調査	調査内容 ○ 従業員数、労働時間、休日、週休 2 日制、定年制 ・平均賃金（全従業員数、組合員） ・年齢別平均賃金（男子従業員） ・新規学卒者初任給、採用者数 ・賃金上昇額、賞与、期末手当 ・賃金体系 他 回答 9 社　（集計結果は製本して頒布）
⑤平成 26 年年末手当要求、妥結状況	回答 14 社

（２）雇用関係情報等の労務関係情報の収集・提供

（３）団体グループ保険制度、国内・輸出向け団体ＰＬ保険制度加入拡充の促進のため
会員宛に団体保険制度の案内パンフレット送付等の情報提供及び事務処理作業
（引受保険会社との制度運営対応（会議）含む）

（４）労務関係セミナー開催

開催日	時間・場所 参加者数	テーマ・講師・その他
26.8.26	13:30～15:30 東京・機械振興会館 参加者 17 名	・テーマ:「社会保険料を適正に節減する方法」 ・講　師:社会保険労務士 佐藤 創 氏 （SAS 社会保険労務士事務所　代表）

７．財務委員会事業　（樫本隆之委員長）

予算作成、決算報告、事業支出時等に予算に見合った適正な財務状況となるよう諮問を行った。

Ⅱ　部会事業

○ 部会

	日時･場所 参加者数	議題・その他
ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長)	(第一回) 26.4.18 16:00～17:30 徳島:ホテル クレメント徳島 参加者 11 名	・ステンレスねじの輸出入動向について ・韓国市場視察団視察結果報告 ・26 年度部会事業計画(案)について ・ステンレスねじ市況状況等について ・懇親会
	(第二回) 26.6.11 14:00～16:20 大阪:関西支部会議室 参加者 10 名	・ステンレスねじの輸出入動向について ・大同特殊鋼㈱ 知多工場見学（案）について ・ステンレスねじ市況状況等について
	(第三回) 26.9.25 14:00～16:15 大阪:関西支部会議室 参加者 11 名	・ステンレスねじの輸出入動向及び税関別輸出入動向について ・米国市場ミニ調査について ・大同特殊鋼(株)知多工場見学スケージュール等について ・ステンレスねじ市況状況等について
	(第四回) 26.12.15 17:00～18:10 大阪:北むら(心斎橋) 参加者 10 名	・ステンレスねじの輸出入動向について ・27 年度部会事業計画(案)について ・ステンレスねじ市況状況等について ・懇親会
	(第五回) 27.3.12 14：00～16：00 大阪：関西支部会議室 参加者 12 名	・ステンレスねじの輸出入動向について ・27 年度部会事業計画(案)・予算（案）について ・ステンレスねじ市況状況等について
ソケットスクリュー部会 (椿省一郎部会長)	26.11.27 17:00～18:00 大阪:北むら(心斎橋) 参加者 15 名 (オブザーバー含む)	・ねじ輸出入状況について ・工作機械等主要需要業界の受注動向について ・各社の近況報告と情報交換 ・懇親会
小ねじ部会 (未定) 特殊品ねじ部会 (松田英成部会長)	26.5.16 部　会:11:00～12:00 懇親会:17:00～ 名古屋:名鉄グランドホテル 参加者 13 名(部会) 15 名(懇親会)	≪２部会合同開催≫ ・部会長選任について ・今期の活動計画について ・懇親会
ボルト部会 (相澤正己部会長) ナット部会 (佐藤義則部会長)	26.4.22 14:00～15:30 大阪:大阪商工会議所 参加者 43 名	≪技術委員会及び２部会合同開催≫ (六角ナット及び六角ナットの JIS 改正に伴う合同会議) ・JIS B 1180 及び JIS B 1181 の改正について ・JIS 改正に伴う対応について ・今後の予定について ・意見交換

○ 懇親会

	日時･場所 参加者数	内容・その他
ソケットスクリュー部会 (椿省一郎部会長)	27.1.22 17:00～19:00 東京:東京會舘 参加者 41 名	・賀詞交歓会

○ 工場見学及び市場視察

	日時・場所 参加者数	見学先・その他
ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長)	26.4.18 14:00～15:00 参加者数:11 名	西精工㈱ 土成工場（会員企業）(徳島県阿波市) ・ナット・ファインパーツの生産工場
	26.11.20 14：00～17:00 参加者数:9 名	大同特殊鋼㈱ 知多工場 (愛知県東海市) ・ステンレスねじ線材の生産工場
小ねじ部会 (未定) 特殊品ねじ部会 (松田英成部会長)	26.5.16 13：00～16:00 参加者数:20 名	㈱メイドー 三好工場及び藤岡工場（会員企業）(愛知県みよし市/豊田市) ・高張力ボルト、ナット、冷間鍛造部品の生産工場
建築用ねじ部会 (平田彰三郎部会長)	26.4.12～4.15 建築用ねじの 台湾市場視察団派遣 参加者 6 名 ≪建築用ねじ関連工場見学≫ 26.4.14 13：00～17：00 参加者 6 名	・台湾国際ファスナー展見学 ・五地域ねじ協会交流大会 本会議参加 ・建築用ねじ関連工場見学（以下参照） 見学先：明徽企業股份有限公司（台湾 高雄市）(ボルトメーカー) 朝友工業有限公司（台湾 高雄市）(ボルトメーカー)

Ⅲ　組織強化事業

（１）魅力ある協会運営のための事業推進

○ 協会の財政の健全化､魅力ある事業推進及び会員の増強等協会の基盤強化の推進のために、７委員会･７部会（上記参照）活動を活性化

○ 会員増強の推進

○ 関東・中部・関西の各支部懇談会開催及び懇親会の開催等による会員の相互連携強化事業

○ 委員会・部会の統廃合の検討に伴う調整／準備及び事務処理

（２）会員の経営基盤強化のための講演会開催

開催日	時間･場所 参加者数	テーマ･講師･その他
26.12.4	16:00～17:00 大阪･ホテル日航大阪 参加者 64 名	･テーマ:「金融市場の今後の展望について」 ･講　師:株式会社三井住友銀行 市場営業推進部　副部長　鈴木 祥之　氏

（３）一般社団法人への移行後の事務作業（内閣府への報告等）

（４）定款変更検討／準備並びに諸規程の整備

（５）政府経済対策等への対応

○ 政府・官公庁からの情報提供等政府施策活用促進関係事業（広報／情報提供／問合せ対応 他）

○ 政府経済対策情報提供

・中小企業信用保険法（セーフティネット保証）の業種指定への対応

・政府補助金事業及び補正予算関係の情報提供（対応）（広報／問合せ対応 他）

○ 電力需給対策・原子力発電対策への対応（政府支援策等の情報提供）

（６）取引の適正化に係わる事業

○ 消費税増税に伴う対応（政府からの情報周知･対応､会員の対応状況等情報収集／提供）

○ 政府の下請取引適正化対策の周知・対応

（産業機械･航空機等における下請適正取引等の推進のためのガイドラインの改正に伴う対応／周知並びに業界取組みの説明対応、活用状況等の情報収集、その他 取引の適正化に係わる情報の情報収集・提供）

○ 自動車産業適正取引ガイドライン説明会及び意見交換会（懇親会）の開催

開催日	時間･場所	テーマ･講師･参加者数･その他
27.1.27	説明会 15:00～16:30 意見交換会 16:30～18:00 東京･機械振興会館	≪説明会≫　参加者 41 名 ･「自動車産業における下請適正取引等の推進のためのガイドライン」について ･講　師:経済産業省 製造産業局 自動車課 課長補佐 潮崎 雄治 様 ･来賓:経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 服部 嘉博 様 〃　係長　中嶋 匡 様 ≪意見交換会(懇親会)≫ 参加者 16 名

○ 取引問題委員会（全国中小企業団体中央会 委員会）への協力

○ 部会・ねじ商工連盟総会等における原材料関係等に関する情報交換

○ 取引の適正化に係わる事業のための協会常設委員会（取引委員会）設置の検討／準備

（７）日本ねじ商業協同組合連合会、日本ねじ研究協会等関連団体との連携強化

（日本ねじ研究協会 主催 講演会の案内を HP 掲載 他）

（８）中学生職場訪問への対応（公立中学校生徒の当協会事務局への職場見学訪問／ねじ業界説明）

（９）その他

○ 経済産業省等の行政省庁との情報交換（会員企業への企業訪問への対応、情報交換）

○ (一社)日本機械工業連合会、全国中小企業団体中央会、鉄鋼製品団体協議会、（一財）日本規格協会、中央職業能力開発協会（JAVADA）等各種関係団体との連携／対応

○ 栄典対応・作業

第３章　総会、理事会、執行役員会、懇談会・懇親会等

１．総会、理事会、執行役員会

（１）総会

一般社団法人に改組後の第 2 回社員総会は､5 月 22 日に東京で開催。(議事録は「参考 1」に記載)

	日時･場所 出席者数	議　題・その他
第 2 回 社員総会	26.5.22 15:00～16:10 東京･浜松町 東京會舘 出席 146 名 (内委任状及び 書面決議 88 名)	第 1 号議案　平成 25 年度事業報告(案)並びに決算報告(案)及び 公益目的支出計画実施報告案承認に関する件 第 2 号議案　平成 26 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に 関する件 第 3 号議案　会費規程改正（案）承認に関する件 第 4 号議案　理事候補選任（案）承認に関する件 ○総会終了後懇親会 来賓挨拶:経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 金澤 信 様

（２）理事会、執行役員会

平成 26 年度は理事会､執行役員会を同日･同時間･同場所で年間 4 回開催､概要は以下のとおり。

	日時･場所 出席者数	議　題・その他
第 5 回理事会 第5回執行役員会	26.4.24 14:00～15:00 東京･ 機械振興会館 出席理事 8 名 出席監事 2 名 出席執行役員 70名 (内委任状28名)	議題 1 会長及び副会長の交代について 議題 2 総会付議案件について (1) 平成 25 年度事業報告案について (2) 平成 25 年度決算報告案について （公益目的支出計画実施報告書案を含む） ○理事会開催に先立ち ・エネルギー基本計画の説明 経済産業省 資源エネルギー庁 総合政策課 需給政策室長 奥家 敏和 様 ・経産省の推進している政策等の紹介及び説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 金澤 信 様
第 6 回理事会 第6回執行役員会	26.9.11 14:30～16:30 名古屋･ 名鉄グランドホテル 出席理事 8 名 出席監事 2 名 出席執行役員 66名 (内委任状35名)	議題 1 入会申請案について 議題 2 役員候補等選任手順案について ○理事会終了後 平成 27 年度税制改正に伴う経済産業省の要望事項について説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課課長補佐 服部 嘉博 様
第 7 回理事会 第7回執行役員会	26.12.4 15:00～16:00 大阪･ ホテル日航大阪 出席理事 8 名 出席監事 2 名 出席執行役員 69名 (内委任状30名)	議題　平成 27 年度行事予定(案)について ≪報告事項≫ (1)未来開発･パブリシティ委員会の活動報告と来期の予定 (2)技能検定制度について (3)六角ボルト・ナット JIS 改正の広報活動について (4)産業遺産登録状況について ○理事会終了後 挨拶 経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 中嶋 匡 様
第 8 回理事会 第8回執行役員会	27.3.19 14:00～15:00 東京･ 機械振興会舘 出席理事 8 名 出席監事 2 名 出席執行役員 69名 (内委任状23名)	議題 1 執行役員候補選任案について 議題 2 第 3 回社員総会付議案件について (1) 平成 27 年度事業計画案について (2) 平成 27 年度収支予算案について (3) 理事及び監事候補選任案について (4) 定款改正案について 議題 3 正副会長及び専務理事選任案について 議題 4 委員会及び部会の再編案について 議題 5 規程の整備について 議題 6 入会申請について ≪報告事項≫ 平成 26 年度事業報告及び決算報告の書面審議について ○理事会開催に先立ち 経産省の推進している政策等の紹介及び説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課課長補佐 服部 嘉博 様

２．懇談会・工場見学会・懇親会等

懇談会･工場見学会･懇親会等の開催

	日時･場所等	時間・参加者数
総会懇親会	26.5.22 東京･浜松町 東京會舘	16:30~18:30 参加者 78 名
関西支部工場見学会･ 懇親会 (後藤晴雄支部長)	26.6.17 ≪工場見学会≫ 見学先:本田技研工業㈱ 鈴鹿製作所 (三重県鈴鹿市) ≪懇親会≫ 大阪･ホテル日航大阪	工場見学会 13:45~15:45 参加者 43 名 懇親会 18:00~20:00 参加者 37 名
中部支部懇親会 (長谷川裕恭支部長)	26.7.15 名古屋:名鉄グランドホテル	懇親会 17:00~18:30 参加者 37 名
執行役員･中部支部会員 ･賛助会員 懇親会 (9 月理事会)	26.9.11 名古屋:名鉄グランドホテル	懇親会 16:30~18:00 参加者 57 名
忘年会 (12 月理事会)	26.12.4 大阪･ホテル日航大阪 ≪講演会来賓≫ 経済産業省 近畿経済産業局 産業部 ものづくり支援室長 大平 昌平 様	講演会 16:00~17:00 参加者 64 名 忘年会 17:00~19:00 参加者 56 名
関東支部工場見学会･ 忘年会 (椿省一郎支部長)	26.12.12 ≪工場見学会≫ 見学先:東京セキスイハイム工業㈱ 蓮田工場(埼玉県蓮田市) ≪忘年会≫ パイオランドホテル(さいたま市大宮)	工場見学会 14:30~16:45 忘 年 会 18:00~19:30 参加者 工場見学会 31 名 忘 年 会 28 名
賀詞交歓会 (日本ねじ研究協会と共催)	27.1.15 東京･浜松町 東京會舘	15:00~16:30 参加者 195 名

３．ねじ商工連盟総会

	日時･場所 参加者数	議題・その他
ねじ商工連盟総会 (鈴木建吾会長、 相澤正己副会長)	26.8.1 12:00～14:00 東京･ 浜松町 東京會舘 参加者数 ねじ協会側 16 名 ねじ商連側 15 名 報道 6 名	≪報告事項≫ ･平成 25 年度収支決算並びに剰余金処分案 ･平成 26 年度収支予算案 (総会終了後) ･ねじ商連側代表 4 名より地区別に現況及び見通し等報告 ･ねじ協会側代表 3 名より需要業界毎に現況及び見通し等報告 ･六角ボルト･六角ナットの JIS 改正におけるリーフレットについて説明 (説明者:大磯義和専務理事)

【平成２６年度会員数推移】

	期　首	入　会	退　会	期　末
正会員 (内団体)	153 (5)	2 (0)	4 (0)	151 (5)
賛助会員	40	2	1	41
合　計	193	4	5	192(5)

平成２６年度入会社数　　正会員２社　賛助会員２社

正 会 員　有限会社サカエ製鋲所　(関西支部)
株式会社石渡螺子製作所　(関東支部)

賛助会員　株式会社新城インターナショナル
株式会社東宝ダイス製作所

平成２６年度退会社数　　正会員４社　賛助会員１社

正 会 員　株式会社八幡製鋲所　(中部支部)
株式会社サンロックオーヨド　(関西支部)
大東金属株式会社　(関西支部)
濱中ナット株式会社　(関西支部)

賛助会員　日本エリコンバルザース株式会社

・会員数推移

	入会	退会	年度末	全会員
平成１９年度('07)	2 (0)	8 (0)	162 (6)	195 (6)
	2	1	33	
平成２０年度('08)	1 (0)	10 (0)	153 (6)	184 (6)
	0	2	31	
平成２１年度('09)	9 (0)	7 (1)	155 (5)	190 (5)
	4	0	35	
平成２２年度('10)	2 (0)	4 (0)	153 (5)	192 (5)
	5	1	39	
平成２３年度('11)	1 (0)	2 (0)	152 (5)	192 (5)
	1	0	40	
平成２４年度('12)	3 (0)	0 (0)	155 (5)	196 (5)
	2	1	41	
平成２５年度('13)	0 (0)	2 (0)	153 (5)	193 (5)
	2	3	40	

上段：正会員（内団体数）
下段：賛助会員

【参考１】第２回社員総会議事録　（一般社団法人日本ねじ工業協会）

１．日　　時
　　平成 26 年 5 月 22 日（木曜日）　15：00　～　16：10

２．場　　所
　　東京都港区浜松町 2－4－1
　　世界貿易センタービル 39 階　東京會舘「チェリールーム」

３．出　席　者
正会員総数　　153 名
出席正会員数　　146 名（うち委任状及び書面による議決権行使者 88 名）

４．議　　題
　第１号議案　平成 25 年度事業報告(案)並びに決算報告(案)及び
　　公益目的支出計画実施報告案承認に関する件
　第２号議案　平成 26 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件
　第３号議案　会費規程改正（案）承認に関する件
　第４号議案　理事候補選任（案）承認に関する件

５．議　　事
　開会に先立ち平成 25 年度にご逝去された会員企業物故者のご冥福を祈り黙祷を捧げた。
　大磯専務理事から、出席正会員数につき、定款第 29 条（正会員の過半数の出席により成立）の要件を満たし定足数に達している旨を報告。
　定款第 27 条の規定により、竹中弘忠会長が議長となった。
　議事に入る前に、来賓の経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 金澤　信 氏より、挨拶があった。
　続いて議長が本日の議事録署名人に椿省一郎副会長、後藤晴雄副会長の 2 名を指名して議事に入った。

第１号議案　平成２５年度事業報告(案)並びに決算報告(案)及び
　　公益目的支出計画実施報告案承認に関する件

　専務理事より、資料１－１「平成 25 年度事業報告書(案)」、資料１－２「平成 25 年度決算報告書(案)」及び公益目的支出計画実施報告書案に基づき説明があった。
続いて監事を代表して田中良典監事が、「去る 4 月 18 日に、監事 2 名が一般社団法人日本ねじ工業協会本部において、平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの事業年度における事業内容、財産の状況、会計並びに理事の業務執行状況の監査を行った結果、貸借対照表、財産目録及び収支計算書は正しく示しており、また理事の職務執行についても法令また定款に違反していないと認める」旨の報告があった。

　議長より第１号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

第２号議案　平成 26 年度事業計画(案)、収支予算(案)及び
第３号議案　会費規程改正（案）承認に関する件

　専務理事より資料２－１「平成 26 年度事業計画書(案)」、資料２－２「平成 26 年度収支予算書（案)」及び資料３「会費規程改正案」について、説明があった。

　議長より第２号議案及び第３号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

第４号議案　理事候補選任（案）の承認に関する件

専務理事より、本日の第２回社員総会をもって、竹中理事及び嶋田理事より退任する旨の申し出があり、この度中部支部役員選考委員会において藤田守彦執行役員が、関西支部役員選考委員会より樫本隆之執行役員が理事候補として選任されていると説明があった。両名の理事就任について審議願いたいと説明した。

【理事候補】　　（順不同、敬称略）

藤田　守彦	藤田螺子工業株式会社	常務取締役
樫本　隆之	株式会社三和鋲螺製作所	代表取締役会長

議長が議場に第４号議案を諮った結果、異議なく承認された。
なお任期は定款第 16 条２項により、前任者の残存任期である第３回社員総会までであると説明があった。

議長は、以上をもって第２回社員総会の議事が全て終了した旨を述べ、16 時 10 分終了した。

上記の議決を明確にするために本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに署名捺印する。

平成 26 年 5 月 22 日

一般社団法人日本ねじ工業協会

議　長　会　長　竹　中　弘　忠
署名人　副会長　椿　　省一郎
署名人　副会長　後　藤　晴　雄